

「学校・家庭・地域の連携・協働研修会」事業報告

1 事業名 令和3年度「学校・家庭・地域の連携・協働研修会」

2 研修内容

研修1〈説明〉「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」

筑豊教育事務所 社会教育室 主任社会教育主事 坂本 真一

教育指導室 指導主事 梅木 雷太

研修2〈講話〉「社会に開かれた教育課程の実現に向けた

学校づくりと地域づくりについて」

福岡教育大学 教育学部 教授 伊藤 克治 氏

3 日時 令和3年10月19日(火) 13:50~16:20

4 会場 福岡県教育庁筑豊教育事務所 (飯塚市立岩 1401-2)

5 対象 市町村教育委員会教育委員、市町村教育委員会社会教育委員
市町村教育委員会学校教育関係課職員、
市町村教育委員会社会教育・生涯学習関係課職員、
小・中学校・義務教育学校教職員、地域学校協働活動推進員

6 当日の様子



【地域学校協働活動の説明】



【コミュニティ・スクールの説明】



【講話をする伊藤教授】



【交流をする参加者】

本研修会は、「地域学校協働活動の意義やコミュニティ・スクールのしくみ」「両者の一体的推進」「社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校づくりと地域づくり」について学んでいただくために、社会教育室と教育指導室が連携して研修内容を企画しました。

両者の一体的推進を図れていないことが課題としてありましたが、参加者同士の交流を通して、「学校の課題と地域の課題を共有し、学校と地域が活性化できるように学校と地域の橋渡しを行っていききたい。」「学校と地域の方との連携に努めていききたい。」等の声が聞かれ、それぞれの立場で、両者の一体的推進について考える機会となりました。また、参加者の感想の中にも、「学校運営協議会や地域学校協働本部があるということを知り、地域の力を借りて、学校の課題改善を行っていききたい。」「カリキュラムづくりに地域の声を取り入れ、一緒に教育内容を作っていききたい。」等の声が多く見られました。

今回の研修会をとおして、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図ることの意義やメリットについての理解を深めることができました。